

Faculty of SCIENCE and TECHNOLOGY

2018 Make the future

SCIENCE and TECHNOLOGY

大分大学
理工学部長・工学研究科長
劉 孝宏



創生工学科

Department of Innovative Engineering

最先端の工学技術を基礎から習得し、モノづくりの明日を担う人材を育てる。

理学的要素である数物系サイエンスのグローバルな視点を持ち、数物モデル化とシミュレーション技術を通して、安心かつ持続可能な社会の実現のために、付加価値の高いものづくり技術を創生すべく、新たな課題を自ら探求し、問題を整理・分析し、学際領域

であるエネルギー・環境科学分野、医工学・福祉工学分野、防災・減災分野における問題に応用することにより、地域からイノベーション創生に取り組むことのできる人材を養成し、「学士（工学）」の学位を授与します。

機械コース

75名



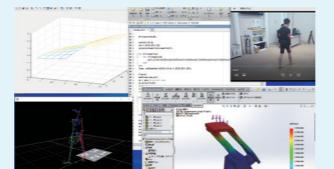
電気電子コース

75名



福祉メカトロニクスコース

35名



建築学コース

50名



理学の基礎に基づく最先端の機械工学とエネルギー・環境科学等を学び、高効率で環境低負荷な自動車、ロボットなどの機械関連の設計・開発ができる技術者・研究者。

数学と物理の理学と電気電子工学を融合的に学び、電気エネルギーと電子情報工学の分野に関する基礎から応用までの理論や技術を修得するとともに、実験・演習による技術の体得、さらには数理的な思考方法もできる創造性と専門性を備えた電気系技術者・研究者。

理学の基礎に基づく最先端の建築構造・材料施工・環境工学と建築設計・都市計画等を学び、安全で接続可能な建築とまちづくりに貢献できる建築士・技術者・研究者。

『理工学』って何でしょう？

What is the meaning of 'Science and Technology'?

自然や数理の本質を追究し、様々な事象の概念や法則を見出していく「理学」と、

自然科学や数学を基礎として、社会に役立つ技術や製品を研究・開発する「工学」。

答えの1つとして『理工学』とは、「理学」と「工学」が融合した、人類の未来を拓く学問と言えるでしょう。

大分大学理工学部の創生工学科では、「工学の専門性を究めつつ理学の素養を併せ持つ人材」を、
共創理工学科では、「理学の専門性を究めつつ工学の素養を併せ持つ人材」をそれぞれ養成します。

未来はこの瞬間から始まる。

さあ、あなたも大分大学理工学部へ！

共創理工学科

Department of Integrated Science and Technology

環境や社会の未来を見つめ、科学および化学の発展に貢献する。

科学技術イノベーションに繋がる自然物（生物・非生物）の原理・原則と客観的な観察と論理的な思考に基づく数理・自然科学を基本とし、基礎科学としての数理科学と応用技術としての情報科学との講義連携、また基礎科学としての自然科学と応用技術として

の応用化学との講義連携により、新たな課題を自ら探求し、問題を整理・分析し、数理科学、自然科学、情報科学、応用化学分野における問題や地域の課題に応用できる柔軟な発想をすることができる人材を養成し、「学士（理工学）」の学位を授与します。

数理科学コース

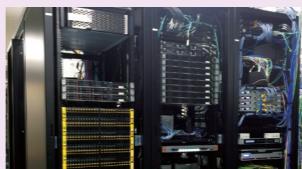
15名



論理的思考力と発見的創造力をあわせもち、数理的知識・推論を活用して問題解決に寄与するとともに、次の世代の発展にも貢献できる科学者、技術者、教育者、研究者。

知能情報システムコース

65名



数理的思考に基づいて事象をモデル化し、計算機による高度なシミュレーションや新たなシステムを自立的にデザイン・構築することができる科学者、技術者、教育者、研究者。

自然科学コース

15名



総合的な自然科学の基礎知識と活用能力をもち、それを理工学的視点から地域社会の発展に応用することができる科学者、技術者、教育者、研究者。

応用化学コース

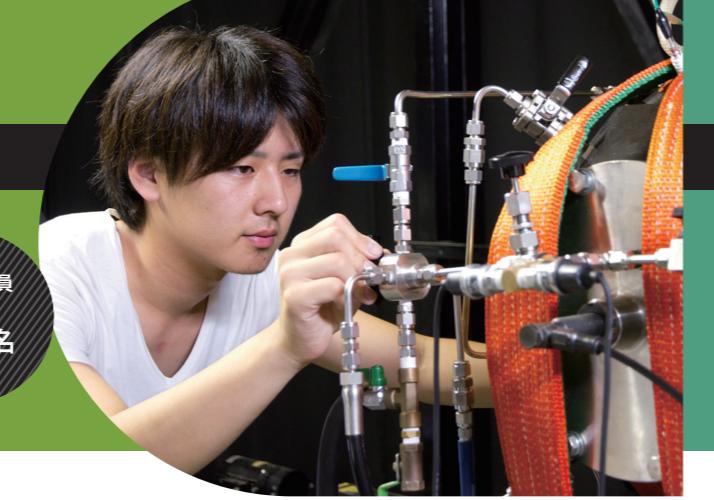
55名



基礎科学の知識と物質・材料科学及び生物化学の専門知識・技術を有し、それらを活用する能力をもち、地域・企業から地球環境に亘るさまざまな課題解決に生かすことができる技術者・研究者。

機械コース

入学定員
75名



豊かな創造性と社会性を身につけた 機械工学のスペシャリストへ

最 先端の機械工学やその基礎技術と利用技術、メカトロニクスおよび先端技術関連分野、エネルギーの有効利用に関する技術開発および利用技術に重点を置き学習します。さらには、機械システムの開発・設計に必要なメカニクスや3D CAD、機械要素・機器の設計法や構造解析、ターボ機械やエンジンの構造と理論、応用設計や機械工学実験などの実技科目も履修し、機械工学の総合的な教育と研究を行います。

主な研究とカリキュラム

熱工学

- 次世代エンジンの性能向上に関する研究
- 代替燃料の高度利用技術に関する研究
- 摂氏100度未満の熱を利用した動力発生に関する研究
- 液体金属流動の磁場による制御
- 含水充てん層内の非定常温度特性に関する研究

流体工学

- 流体工学およびターボ機械に関する研究
- 解析力学による非球形気泡群の力学挙動の解明
- 横流タービン（水車、風車、波力タービン）の研究
- 流れの制御と機械装置への応用

材料力学・材料強度

- 銅・銅合金の結晶粒微細化による強度特性の改善と評価
- 非鉛系はんだの多軸クリープ疲労寿命評価法の開発
- 金属材料の水素脆性に関する研究
- 金属材料の強度に及ぼす水素の影響に関する研究

計測工学

- 自動車用ATの振動抑制技術の開発とディスクブレーキ振動の現象解明

機械加工

- 環境に配慮したホブ切りに関する基礎的研究

設計工学

- 身体動作と関節運動の力学解析

PICK UP

先輩からのメッセージ

私は、人工膝関節の設計評価に関する研究をおこなっています。工学部らしくないバーマにも思いますが、対象が人間の関節であれ、運動や動力学の解析はエンジニアだからこそできることです。特に、現用の人工膝関節の可動範囲を広げ、正座のような膝深屈曲動作を可能にすることを目標に、深屈曲で膝がどのように運動するか、どのような力がかかるかを問題にしています。研究室では、学部で学んだ基礎知識を元に、解析モデル作成、数値解法のほか、三次元CAD、三次元プリンタを援用しての実験装置作成など、専門的な知識を深めることができます。思るように結果が得られず苦労することもありますが、解析条件の変更や実験装置の改良など試行錯誤しながら日々研究しています。機械コースでは、熱工学や流体力学、材料力学など機械工学分野について重点的に学習します。物の「しくみ」やものづくりに興味のある人にとっては、非常にいい環境だと思います。機械コースと一緒に学びましょう。

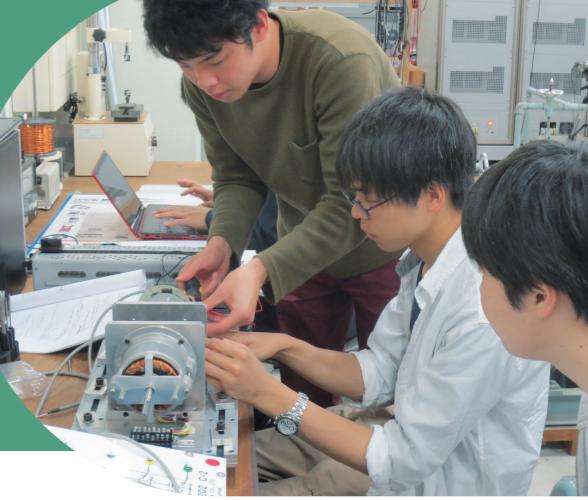
大学院工学研究科 博士前期課程工学専攻
機械エネルギー工学コース1年 川越 雄貴

取得可能資格

- 高等学校教諭1種免許（工業）
- 技術士補（JABEE認定プログラム修了者）

電気電子コース

入学定員
75名

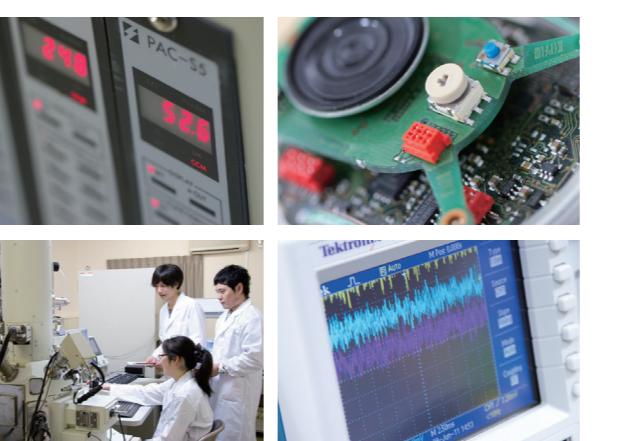


ひとびとの生活を支える 電気・電子のスペシャリストを目指して

電 気電子工学は日常生活に深く浸透しており、あらゆる産業分野が電気電子工学を修めた人材を必要としています。これに応えるように本コースでは電磁気学、電気回路・電子回路、計測、制御、通信、材料、電磁波、高電圧、計算機と基礎から応用まで、知識だけでなく、理解を伴う学びの場を提供します。研究分野もモータ、ネットワーク、電源、半導体材料等の現代社会の基盤を支える技術からプラズマ、音声認識、電磁波解析、ロボットと多岐の分野に挑んでいます。

主な研究とカリキュラム

- 大気圧放電プラズマの開発と環境・マテリアルプロセスへの応用
- 電磁現象を利用した機器の高効率化と最適構造化
- 雑音環境下での音声処理と音響信号の人間感情検出への応用
- IoT社会の未来を切り拓く光ファイバセンサー・通信・計測の研究
- 電磁環境シミュレーションとその応用
- ナノエリア分析／LSI研究とその評価技術の開発
- ロボットの自律学習と知的制御の研究
- スイッチング／パワーサプライの研究開発



PICK UP

先輩からのメッセージ

私たちの研究室では、高電圧技術により発生させる「大気圧プラズマ」を応用了した新しい熱処理技術の研究をしています。熱処理とは、金属材料の機械特性を向上する技術です。自動車のフレームや金型といった、硬さや強度が必要な材料に熱処理を施した鉄鋼が用いられています。産業界では、低圧プラズマを用いた硬化技術が普及していますが、大規模な真空炉中で処理を行う為に設備費が高くなります。これに対して、大気圧プラズマジェットを用いた処理ならば、真空設備を必要とせず、プラズマ照射部分のみの局所的処理が可能となります。どうすれば良い技術を開発できるか、実験系や実験条件を改良し試行錯誤しながら研究しています。実際に企業から処理を頼まれることもあり、非常にやりがいを感じます。今後も努力し、研究を続けたいと思います。

大学院工学研究科 博士前期課程工学専攻
電気電子工学コース2年 河野 将之・千葉清芽



教養教育科目	1年次	2年次	3年次	4年次
全学共通科目				
外国語科目				
身体・スポーツ科学科目				
理工学基礎教育科目 (基礎解析学1・2・3、基礎代数学1・2・3、力学、サイエンス基礎)				
理工学展開科目 (機械数学、工業力学基礎・演習、微分方程式、機械物理学など)				
専門科目				
計算力学基礎 機械工学セミナー 機械製図 機械工学実習 機械工作法 機械材料学 プログラミング	サイエンス解析 材料力学基礎・解析 熱力学基礎・解析 流体力学基礎・解析 熱工学 流体力学 機械設計学基礎 機械計測工学 CAD 演習 工業倫理 (2年次もしくは3年次) 材料力学	機械力学基礎・解析 システム制御 伝熱学 流体力学 機械応用設計・解析 機械工学実験1 機械工学実験2 機械力学 熟エネルギー工学 エネルギー移動工学 流体エネルギー工学 機械加工工学 材料と弾性の力学 メカトロニクス 計算力学 工芸概論(機械) *選択	卒業研究 テクニカルイングリッシュ	
電気電子工学入門 電気電子数学 電気回路1 電気回路2 計算力学基礎 プログラミング	サイエンス解析 電気電子数学 電気回路3 電気電子計測工学 電気電子基礎実験1 電気電子基礎実験2 電子回路1 過渡現象論 情報伝送工学 電気機器工学 電子物理工学 計算機工学 数値解析 インターナショナルA・B	電子回路2 電気エネルギー変換工学 通信工学 電波・光工学 線形システム 電気電子工学実験1 電子回路1 過渡現象論 情報伝送工学 電気機器工学 電子物理工学 計算機工学 数値解析 インターナショナルA・B	論文論講 マイクロコンピュータ工学 電気機器設計・製図 通信法規 起業家育成講座 卒業研究	

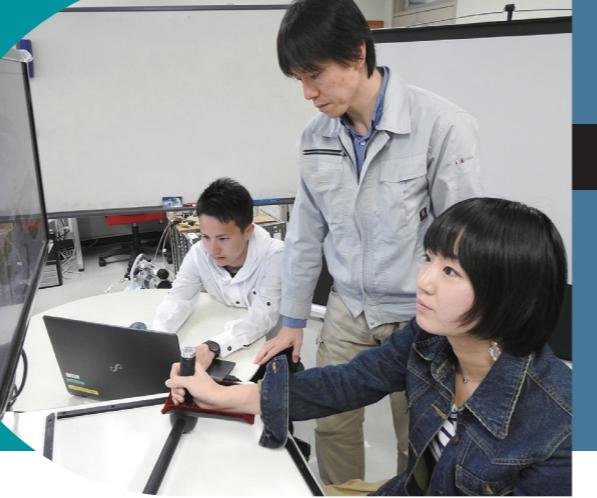
※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

取得可能資格

- 高等学校教諭1種免許（工業）
- 電気主任技術者免許（第1種、第2種、第3種）
※指定科目・単位数を修得の上、卒業後一定期間の実務経験要
- 無線従事者免許
※指定科目を修得の上、卒業後、申請要
第1級陸上特殊無線技士／第3級海上特殊無線技士

福祉 メカトロニクスコース

入学定員
35名

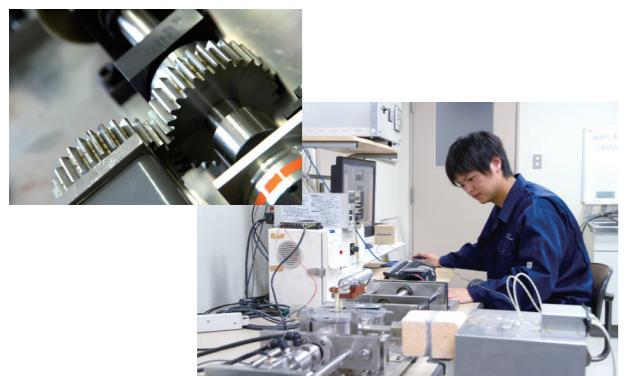


ロボット、ロケット、スマートフォンなど、
メカトロ機器の設計と制御の基礎を習得します。

メカトロニクスとは、機械工学と電子工学の融合分野です。メカトロニクス技術の基礎となる機械工学、電気工学、制御工学、情報工学などを広く学び、高度シミュレーション技術、数理モデル構築、ロボティクス、サイバネティクスなどのメカトロニクス関連分野に関する知見を身につけ、QOL (Quality of Life) 向上を目的とした福祉マインドを持つ技術者・研究者を育成します。

主な研究とカリキュラム

- 移動機器や入浴支援に関する福祉機器及びトライボロジーに関する研究
- 人の動作の力学的計測とリハビリテーション支援装置への応用
- 人間の感覚機能の計測と福祉機器への応用
- 機能性材料・柔軟材料を用いたインテリジェント福祉機器・ロボット
- 身体運動の計測と解析及びスポーツやレクリエーション、トレーニング用具等の開発
- 大気圧マイクロプラズマの応用と計測に関する研究
- 断続動作特性を有する力学系に関する研究
- 電磁非破壊検査や電磁気計測システムに関する研究
- システム制御のメカトロニクス系および生体系への応用



PICK UP

先輩からのメッセージ

私は理学療法士として病院で働きながら、社会人として大分大学大学院工学研究科に入学しました。本コースで、工学的手法により人間の様々な生体信号や身体運動を計測・解析する方法、高齢者や障害のある方を支援する福祉機器やリハビリテーション支援装置など工学と医学の連携という側面について学びました。理学療法士としての視点に加え大学院で学んだ工学的視点を踏まえ、大腿骨頸部骨折術後患者の歩き始め動作を解析し、リハビリテーションに応用することを目指して共同研究を継続しています。

大学院工学研究科 博士前期課程工学専攻
福祉環境工学メカトロニクス(2017年度修了) 安藤 将孝



取得可能資格

- 高等学校教諭1種免許(工業)

※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

教養教育科目	1年次	2年次	3年次	4年次	
	全学共通科目				
	外国語科目				
	身体・スポーツ科学科目				
専門教育科目					
	理工学基礎教育科目 (基礎解析学1・2・3、基礎代数学1・2・3、サイエンス基礎、力学など)	理工学展開科目 (物理学1・2、ベクトル解析、フーリエ解析、複素関数など)			
	専門科目				
	情報処理 メカトロニクス入門 計算力学基礎 電気回路1 プログラミング 生体情報工学	サイエンス解析 材料力学1 電気回路2 電磁気学1 機器設計製図 回路過渡応答論 複合システム解析 材料力学2 電子回路1 電磁気学2 バイオメカニズム 制御工学1 機械工学実験 熱・流体工学 電気回路演習 電磁気学演習 数値解析 インターンシップA・B	線形システム論 機器設計工学1 機械力学 電気機器1 計測工学1 電気電子工学実験 電子回路2 スポーツ工学 身体運動機能学 システム信号処理 機器設計工学演習 非線形システム概論 ロボット工学 制御工学2 計測制御工学実験 機器設計工学2 電気機器2 電力システム工学 生体運動計測法 リハビリテーション工学 計測工学2 科学英語表現法 工業概論(メカトロニクス) 職業指導 インターンシップA・B	卒業研究 論文論講 プラズマ工学 パワーエレクトロニクス テクニカルコミュニケーション 現代制御工学	

建築学コース

入学定員
50名



人間性豊かな建築と環境
～空間のコーディネイト～

本 コースでは、建築学を主体にしながら最新の幅広い関連分野の知識も修得できるようにカリキュラムを編成し、建築および生活環境を作るために、工学的知識に裏打ちされた技術に関する教育・研究、とりわけ設計教育に情報システムを取り入れて、社会の要請にこたえ広く活躍できる人材の育成を目指しています。また、建築学コースのカリキュラムは JABEE* により認められた教育プログラムです。

*日本技術者教育認定機構：<http://www.jabee.org/>

主な研究とカリキュラム

建築環境

- 最新情報技術を活用した建築音場の予測・制御
- 建築材料の音響性能の分析・測定手法の開発
- 快適な室内光環境
- 室内採光の最適化

建築計画・都市計画

- 現代住宅の動向と計画課題の解明
- 洋館付加住宅の建築計画史的研究
- 地理情報システム(GIS)を活用した土地利用や緑地環境の分析
- 地域防災性評価と防災減災教育・活動の支援
- 空き家や空地などの遊休不動産や公共空間を活用した地域再生
- 地域の生活や生業が創造する重要文化的景観の保全と活用

建築構造

- 新築建物の構造性能向上に関する研究
- 既存建物の耐震補強ならびに地震被災建物の補強に関する研究
- 木材の接合技術の開発
- 木造建築の耐震性能

建築材料

- コンクリート構造物の劣化と長寿命化
- コンクリートのリサイクル
- 各種副産材料の有効活用

教養教育科目	1年次	2年次	3年次	4年次
	全学共通科目			
	外國語科目			
	身体・スポーツ科学科目			
専門教育科目				
	理工学基礎教育科目 (基礎解析学1・2、基礎代数学1・2、サイエンス基礎、力学など)	理工学展開科目 (建築図学、ベクトル解析、フーリエ解析、建築物理シミュレーションなど)		
	専門科目			
	計算力学基礎 建築統論 建築構法 住居論 建築 CAD 製図1 構造力学1 構造力学2 日本建築史 西洋建築史 起業家育成講座	サイエンス解析 建築ワークショップ 技術者倫理 建築設備計画1・2 都市計画 建築設計計画演習2 鉄筋コンクリート構造 建築施工学 構造解析 建築構造設計1 木質構造 建築材料 建築材料実験 建築環境解析 測量学実習 電気工学概論 インターンシップA・B	建築ワークショップ 技術者倫理 建築設備計画1・2 都市計画 建築設計計画演習2 鉄筋コンクリート構造 建築施工学 構造力学2 日本建築史 西洋建築史 起業家育成講座	卒業研究 建築英語 音響工学

※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

PICK UP

高度な建築技術者を養成

「地域との強い連携に基づく建築技術者養成」プロジェクト(2011～2013年度)の一環で、木造・鉄骨造および鉄筋コンクリート造の3棟の実物大模型を建造するという、世界に類を見ない取り組みを実施しました。現在、この広場“Field of Dreams”は、実際に各構造の特徴を体感できる実用的な教材として機能しています。



取得可能資格

- 高等学校教諭1種免許(工業)
- 1級建築士受験資格 ※卒業後、建築に関する2年以上の実務経験が必要
- 2級建築士及び木造建築士受験資格
- 1、2級建築施工管理技士等技術検定の受験資格 ※卒業後、一定期間の実務経験が必要
- 1、2級建設機械施工
- 1、2級土木施工管理
- 1、2級管工事施工管理
- 1、2級建築施工管理
- 技術士補(JABEE認定プログラム修了者)

自然科学コース

入学定員
15名



科学の基礎を支える自然科学 – 未知なる世界を解き明かせ！ –

生 命科学、物質科学、地球科学など幅広い自然科学の理論と地域社会の発展に資する科学技術を総合的に学びます。教育課程では、物理、化学、生物、地学の各基礎分野の講義と実験科目を配し必修としています。これらの基礎の上に、知識を深化させる科目として、量子論、分子構造解析、環境生物学、宇宙科学等を設け、さらに各分野の融合科目や、専門性を社会に還元する科目によって、自然科学の“実践力”を養います。

主な研究とカリキュラム

仲野 研究室

- 星形成史と星間分子雲
- 前主系列星の検出

長屋 研究室

- ソフトマター実験物理学
- 液晶光学デバイス

芝原 研究室

- 構造有機化学

永野 研究室

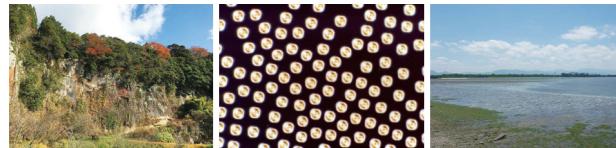
- 生態学
- 生物多様性学

北西 研究室

- 保全生物学
- 分子生態学

岩下 研究室

- 液体・ガラスの物理学



教養教育科目	1年次	2年次	3年次	4年次
	全学共通科目 外國語科目 身体・スポーツ科学科目			
		理工学基礎教育科目 (基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、基礎地学など)		
		理工学専開科目 (物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験など)		
専門教育科目	専門科目			
自然科学概論 計算物理学基礎 無機化学	有機化学概論 環境生物学 環境地球科学 自然科学特別講義1 機能物質化學1 分子生物学 生物系統学 物理化学1 物理化学2 物理化学3 生物化学 電磁気学 食品科学概論 インターナシップA	地域資源フィールドワーク 自然科学研究特別講義2 機能物質化學2 応用生物学 応用生物学実験 量子論 有機構造解析 大気海洋科学 有機化合物実験 食品安全化学1 食品安全化学2 宇宙科学 機器分析 遺伝子科学 生体高分子 科学英語表現法 食品化学工学 インターナシップB 起業家育成講座	外書講読 卒業研究	

※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

PICK UP

自然科学コースの特色

2017年に大分県ではじめて理学と工学の両方を学べるコースが誕生しました。自然科学コースでは、実験や計算機シミュレーション、観測や野外活動等を通じて、科学の基盤となる自然科学の基礎や論理的思考を着実に身につけることができます。



取得可能資格

- 中学校教諭1種免許状(理科)
- 高等学校教諭1種免許状(理科)

応用化学コース

入学定員
55名



人類・地球環境・エネルギー等を化学的視野でとらえ 最先端の化学技術開発をリードする人材を育てます。

化 学およびその応用分野の基礎となる物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、高分子化学、生物化学、食品関連科目などの必須科目を学ぶとともに、自分の興味のある研究に必要な専門知識と実験技術を習得するために、専門科目群の中から該当する科目を選択して学びます。そして、4年間の総仕上げの卒業研究(物質変換、エネルギー変換・貯蔵材料、高機能・高性能材料、高精度微量分析技術、食品・生命科学、廃棄物資源循環システムなど)を通して原子と分子の視点からのモノづくりを学びます。

主な研究とカリキュラム

永岡 研究室

- 触媒化学
- 物質変換プロセス
- エネルギー変換材料
- 分子認識化学
- ナノ粒子
- マイクロチャンネル

甲斐・井上研究室

- 分析化学
- レーザー化学
- 光科学
- 高分子材料
- 分子認識化
- ナノ粒子
- マイクロチャンネル

氏家・守山 研究室

- 高分子材料
- 液晶材料
- ゲル
- 光機能性材料
- 化学工学
- 環境工学
- 生物工学
- 食品工学
- 廃棄物再資源化
- 環境浄化
- 発酵プロセス

平田 研究室

- 膨張化炭素繊維
- グラフェン
- 空気二次電池
- 水素吸蔵材料
- 燃料電池
- 電極材料、触媒
- 物理有機化学
- 偏光分光
- 高圧化学
- キラル化学

豊田・津村 研究室

- イオン液体と生物有機化学
- 機能性ナノ炭素材料の合成
- 地域一次農産物に含まれる生理活性物質の探索と合成

大賀・原田 研究室

- 物理有機化学
- 偏光分光
- 高圧化学
- キラル化学
- 有機合成化学

石川・信岡 研究室

- イオン液体と生物有機化学
- 機能性ナノ炭素材料の合成
- 地域一次農産物に含まれる生理活性物質の探索と合成



教養教育科目	1年次	2年次	3年次	4年次
	全学共通科目 外國語科目 身体・スポーツ科学科目			
		理工学基礎教育科目 (基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、基礎地学など)		
		理工学専開科目 (化学1・2など)		
専門科目				
応用化学入門	有機化学2	食品衛生化学1	卒業研究	
無機化学	有機化学3	食品衛生化学2	情報機器操作	
分析化学	物理化学1	応用化学特別講義2	論文講読演習1	
有機化学1	物理化学2	化学工学	論文講読演習2	
化学実験入門	物理化学3	食品加工工学		
	生物化学	高分子化学		
	錯体化学	応用化学実験1		
	有機機能化学	応用化学実験2		
	化学実験	応用化学実験3		
	応用化学特別講義1	電気化学		
	食品科学概論	無機材料化学		
	機器分析	機器分析		
	反応有機化学	反応有機化学		
	科学概論	科学概論		
	触媒化学	触媒化学		
	無機工業化学	無機工業化学		
	有機工業化学	有機工業化学		
	分子分光学	分子分光学		
	遺伝子科学	遺伝子科学		
	生体高分子	生体高分子		
	機能物質科学	機能物質科学		
	科学英語表現法	科学英語表現法		

※上記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

PICK UP

応用化学入門

高校から大学への勉学のスムーズな移行とコミュニケーション能力や学習スキルを学ぶことを目的とし、10人程度のグループに分かれて全教員で担当します。各研究室で行われている最先端の研究にも触れることができます。



取得可能資格

- 高等学校教諭1種免許状(理科)

毒物劇物取扱責任者 ※卒業単位を修得すること(卒業)により得られる資格

受験可能資格

- 甲種危険物取扱者 ※卒業単位を修得することにより受験資格のある試験

大学院工学研究科

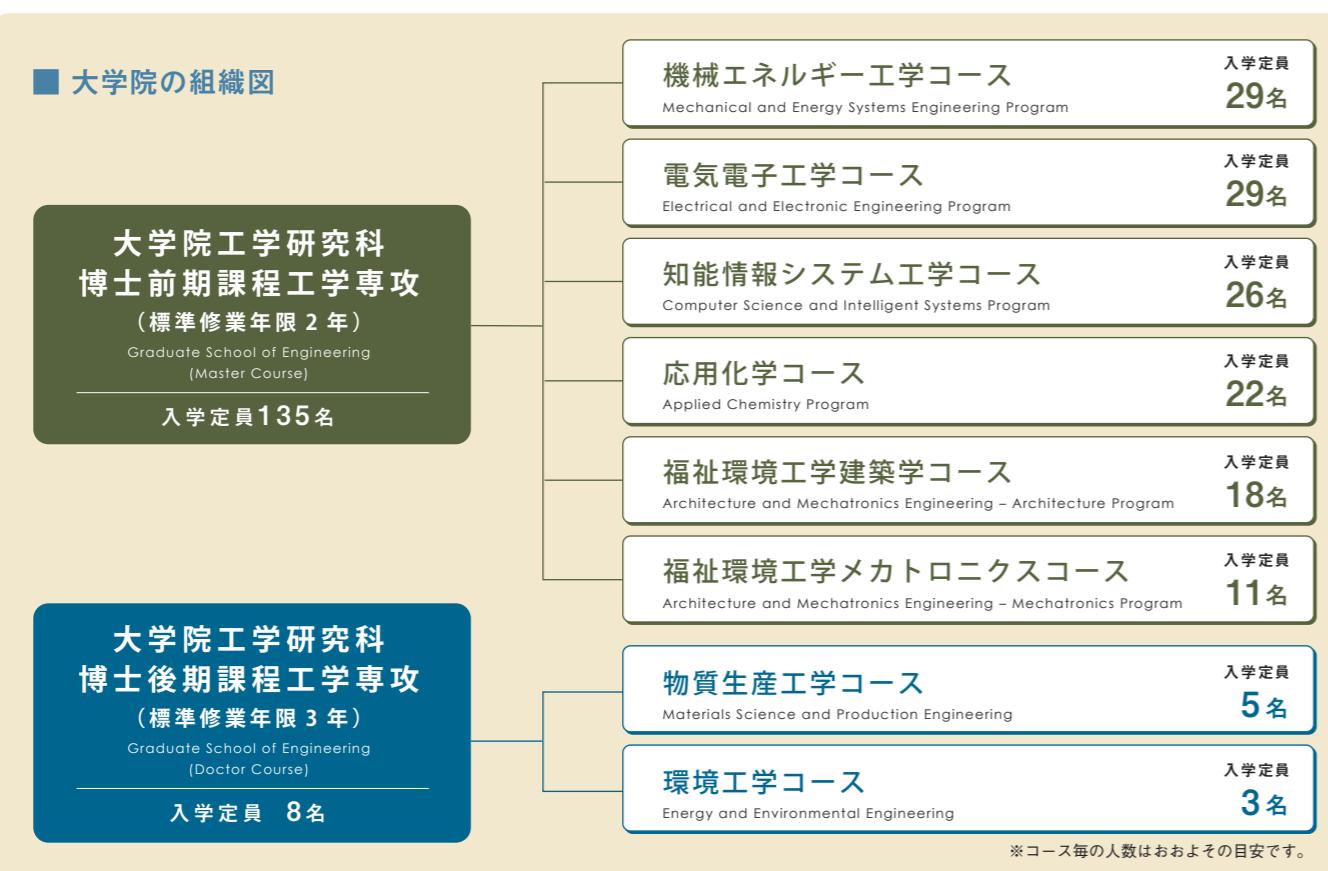
質の高い特色ある教育と研究を通じた科学技術の創造と地域への貢献 豊かな創造性、社会性、及び人間性を備えた人材の育成

現在の科学技術は、グローバル化、高度化、複雑化が進み、グリーン・ライフイノベーションなどの新技術の研究開発が急速に進展しています。科学技術の振興は、重要な国家戦略となり、「科学技術基本計画」及び「理工系人材育成戦略」の中で、俯瞰力と独創力を備え、広く産学官にわたりグローバルに活躍する人材の養成が求められています。これらの背景を踏まえ、本学の使命・責任を果たすためには、このような社会の要請に応じた質の高い分野横断的教育を実施する必要があります。その実現に向けて、博士前期課程の教育課程では1専攻6コース制、博士後期課程の教育課程では1専攻2コース制にすることにより、専門性、俯瞰力、国際性、創造力、および新技術創出のための実践力を強化し、教育内容の改革・充実を平成28年度から行っています。

工学研究科博士前期課程では、分野横断的な教育プログラムを編成して、地域企業をはじめとする産業界に貢献できる人材を育成します。一方で、学生のキャリアパスを明確にするとともに、高い専門性を維持するため、入学時に選択した主分野に応じてコース分けを行います。各主分野の専門科目群以外に、分野横断型・融合応用研究教育プロジェクト科目群及び分野横断型基礎科目群を設けていて、多様化する産業界のニーズに柔軟に対応可能な教育課程編成になっています。

工学研究科博士後期課程においては、専門性を担保するために、学生は入学時に、ハードウェアを主とするものづくりの革新を推進する物質生産工学コースと情報と人間環境を中心とする技術革新を推進する環境工学コースのどちらかを選択します。カリキュラムと学位プログラムを充実させるために、前期課程カリキュラムを踏まえたコースワーク科目である俯瞰力養成セミナー、国際実践演習、プロジェクト演習、キャリアパス設計の充実を行い、講義科目を1専攻5分野(応用化学分野、機械工学分野、電気電子工学分野、建築学分野、情報工学分野)に分類し、イノベーション創出のために必要となる全分野から履修できるようにしています。

大学院の組織図



博士前期課程

機械エネルギー工学コース

複雑化・高度化した現在、科学技術は、従来の機械工学・電気工学といった縦割りの学問形態のみでは対応困難となっています。本コースでは、専門領域の知識のみならず、それら枠組みを越えて幅広く問題を捉える視野をもった人材の養成を目指します。このため、学生は、当初から各講座の研究室に属して、担当教員の指導のもとに専門領域の勉強研究を行うとともに、機械的・電気的領域を中心として他の関連領域を身に付けるように配慮されています。

応用化学コース

本コースでは、化学の諸問題に対応する場面において指導的な役割を担うことのできる研究者、技術者の育成を目的としています。このため学生には、講義や研究指導を通して化学全般にわたる広い知識と技術を修得するとともに、環境・エネルギー問題に関連した機能性材料・新素材開発、地元農林水産物を原料とした食品開発、廃棄物再資源化技術、レーザー化学分析技術、高圧有機反応化学などから研究テーマを選択し、研究計画の作成から実行、結果の解析から考察までの一連のサイクルをサポートを受けながら繰り返し、最終的に論文としてまとめるためのカリキュラムが用意され、第一線で活躍するために必要な不可欠な能力が育成されるように配慮されています。

電気電子工学コース

学部で修得した専門的知識及び技術を基礎として、電気電子工学の分野で指導的な役割を果たす創造性豊かな研究者及び技術者の育成を目的としています。このため、電気電子工学全般にわたる広い知識を身につけ、より精密な学識と研究及び研究指導能力を養うことに重点を置き、電気電子工学の分野に必要な授業科目が選択できるよう配慮しています。また学生は、制御コミュニケーション、電子デバイス工学、電磁ダイナミクス及び電子情報システム工学のいずれかの講座に属し、担当教員の指導により社会的要請に応える能力を身に付けるようになっています。

福祉環境工学建築学コース

快適で安全安心な生活環境、都市・地域環境の構想・設計、福祉環境の向上を図るために住環境及び施設設計、さらに構造設計・耐震設計、建築材料と施工技術、資源と環境の関わりなどの教育・研究を行い、高度化・多様化する社会の要請、持続可能な建築と都市・地域環境形成に応え得る能力と技術を習得した建築技術者・研究者を育成します。

知能情報システム工学コース

情報科学基礎、計算機システム、知能システムの3講座を軸にした教育・研究を通じて、「知」と「情報」の本質を見極めます。情報の生成・処理・伝達に係る情報システムのハードウェア及びソフトウェアについて、高度の専門知識を習得した、人間を含めた知的で有機的なシステム構築ができる情報技術者・研究者を育成します。

福祉環境工学メカトロニクスコース

本コースは、21世紀の福祉社会の要請に応える生活の質(QOL)の向上に貢献することを目的とし、日常生活における機能回復への支援や福祉の生活環境の実現、さらにはユニバーサルデザインなどに関する技術を総合的工学の立場から発展させ、福祉マインド、すなわち人間とそれを取り巻く環境をひとつのシステムとして考えられる人間性重視の設計思想をもった高度技術者及び研究者を養成するための教育・研究を行います。

博士後期課程

物質生産工学コース

現代社会を構成する機能要素としての物質の機能の解明、生産技術の開発、さらに物質に附加された各種の情報の生産と処理技術に関する教育研究を行います。

科学技術の発展は、新しい物質の発見と、それを生産する技術の改良によって支えられてきました。新規な機能を有する物質の発見と効率的生産がさらに新しい技術を生み出し、大量生産を可能にするとともに産業の発展を促してきました。近年は先端技術分野で用いられる物質に対する要求が高度化し、従来とは異なった発想に基づく創造的生産技術が求められています。これからは、個々の過程を別個にとらえるのではなく、高い機能を有する物質の設計から機能を発現させる製造技術、そして高品質大量生産を可能にする生産プロセスまで、一つのシステムとしてとらえることが必要です。本コースは、新規な物質の開発と生産技術、及びシステム化をめぐる課題を取り上げて教育研究を行います。

環境工学コース

人類の諸活動が環境に与えるインパクトを解明するために、快適な環境の計画と設計、さらに知的活動の支援や環境をコントロールするための情報システムに関する教育研究を行います。

科学技術の進歩とともに生産活動が活発になるのに伴い、人間を取り巻く環境は急速に変化しています。無限とも思われてきた環境容量を超える生産活動は、今や地球規模で環境に重大な影響を及ぼしつつあり、調和のとれた発展が強く望まれます。一方、情報化社会の到来・生活水準の高度化などに伴い、快適な生活環境に対する要求が強くなっています。このような社会の要求に応えるためには、単なる問題解決型の取り組みのみによるものではなく、快適な自然環境と調和の取れた人工環境の創造という視点に立った人間工学的、情報・システム科学的観点からのアプローチが必要です。本コースは、環境をめぐる種々の課題について、人間環境、環境情報の観点から取り上げて教育研究を行います。

入試情報

Entrance Examination Information

ここに掲載した情報は、確定しているものではありません。

最新の情報は、必ず本学ホームページまたは平成31年度入学者選抜要項(平成30年7月発行予定)をご覧ください。

□ 募集人員

学科	コース	募集定員	一般入試		推薦入試		AO入試**
			前期日程	後期日程	一般推薦	サイエンス推薦*	
創生工学科	機械コース	75	44	15	11	2	3
	電気電子コース	75	52	10	9	2	2
	福祉メカトロニクスコース	35	18	7	6	2	2
	建築学コース	50	35	10			5
共創理工学科	数理科学コース	15	11	2		2	
	知能情報システムコース	65	41	10	7	2	5
	自然科学コース	15	10	3		2	
	応用化学コース	55	37	10	4	2	2
	計	385***	248	67	37	14	19
			315		51		

*科学に関する特別活動(例:科学クラブ等の課外活動、SSHプログラム等)に取り組んだ経験のある者を対象とします。

**工業系、総合学科を卒業予定の者を対象とします。

***特別入試(私費外国人留学生入試および帰国子女入試)若干名を含みます。

□ 入学者選抜試験実施状況(平成30年度)

選抜区分		一般入試 (前期日程)			一般入試 (後期日程)			推薦入試			AO入試			特別入試 (帰国子女・ 私費留学生)			合計			
学科	コース	募集	志願	入学	募集	志願	入学	区分	募集	志願	入学	募集	志願	入学	募集	志願	入学	募集	志願	入学
創生工学科	機械コース	44	86	50	15	78	11	一般 サイエンス	11 2	15 1	12 1	3	5	5	若干	3	1	75	188	80
	電気電子コース	52	80	53	10	60	11	一般 サイエンス	9 2	10 2	8 1	2	3	2	若干	4	2	75	159	77
	福祉メカトロニクスコース	18	47	23	7	45	7	一般 サイエンス	6 2	9 0	6 0	2	2	1	若干	4	0	35	107	37
	建築学コース	35	71	37	10	97	12					5	7	5	若干	2	1	50	177	55
共創理工学科	数理科学コース	11	34	15	2	20	2	一般 サイエンス	2 2	1 5	0 2				若干	3	0	15	58	17
	知能情報システムコース	41	94	45	10	73	10	一般 サイエンス	7 2	29 5	7 2	5	7	5	若干	5	0	65	213	69
	自然科学コース	10	22	10	3	16	3	一般 サイエンス	2 2	6 6	2 2				若干	1	0	15	45	15
	応用化学コース	37	94	40	10	77	6	一般 サイエンス	4 2	19 3	4 3	2	1	1	若干	6	2	55	200	56
	理工学部合計	248	528	273	67	466	62	一般 サイエンス	37 14	82 18	37 9	19	25	19	若干	28	6	385	1,147	406

□ 推薦入試

一般推薦

実施学科・コース		配点	評価ポイント
創生工学科	基礎能力試験	300	○高等学校等で学習した内容に関する学力、及び科学的思考能力を評価
	面接	150	○志望する学科・コースやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価 ○基礎学力に関する試問を通して、理解力・論理的思考能力・表現力を評価
	調査書・推薦書	50	○高等学校等での学習及び課外活動状況 ○人物的に優れ、大学入学後も優秀な成績を修め得ること ○合格した場合、入学を確約できること
計		500	

サイエンス推薦

実施学科・コース		配点	評価ポイント
創生工学科	プレゼンテーション・面接	450	○科学に関する特別活動についての発表とそれに関する質疑応答を行い、理解・自己表現力を評価 ○志望する学科・コースやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価 ○基礎学力に関する試問を通して、理解力・論理的思考能力・表現力を評価
	調査書・推薦書・志願理由書	50	○高等学校等での学習及び課外活動状況 ○人物的に優れ、大学入学後も優秀な成績を修め得ること ○合格した場合、入学を確約できること ○今後の目標、入学後の勉学意欲を評価
	計	500	

□ AO入試

実施学科・コース		配点	評価ポイント
創生工学科	自己推薦書	50	○今後の目標、入学後の勉学意欲を評価
	活動報告書	150	○卒業製作、課外活動、生徒会活動、ボランティア活動のほか各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加などの諸活動の状況や各種資格の取得、ジュニアマイスター顕彰、各種表彰などの実績を評価
	調査書	50	○高等学校等での学習及び課外活動状況 ○人物的に優れ、大学入学後も優秀な成績を修め得ること
共創理工学科	第2次選考**	250	○志望する学科・コースやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を評価 ○基礎学力に関する試問を通して、理解力・論理的思考能力・表現力を評価 ○高等学校等で学習した内容に関する学力、及び科学的思考能力を評価
計		500	

*第1次選考の合格者は、各コースとも募集人員の3倍程度とします。

**創生工学科機械コース、電気電子コース、福祉メカトロニクスコースは面接、創生工学科建築学コース、共創理工学科知能情報システムコースは面接と筆記試験、共創理工学科応用化学コースは面接と小論文を実施します。

□ 一般入試〔前期〕

前期日程

学科	コース	大学入試センター試験		個別学力検査		
		教科・科目名等	教科・科目名等	教科・科目名等	教科・科目名等	
創生工学科	機械コース	国語 「国語」1科目 地歴 「世界史B」「日本史B」「地理B」 公民 「倫理、政治・経済」から1科目 数学 「数学I・数学A」1科目 「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科 「物理」「化学」2科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目		数学 [数学I・数学II・数学III・数学A・数学B]1教科 ※数学Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数学Bは「数列、ベクトル」	理科 [物理基礎・物理]1教科	
	電気電子コース					
	福祉メカトロニクスコース					
	建築学コース					
共創理工学科	数理科学コース	国語 「国語」1科目 地歴 「世界史B」「日本史B」「地理B」 公民 「倫理、政治・経済」から1科目 数学 「数学I・数学A」1科目 「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科 「物理」「化学」「生物」から2科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目		数学 [数学I・数学II・数学III・数学A・数学B]1教科 ※数学Aは「場合の数と確率、図形の性質」 数学Bは「数列、ベクトル」	理科 [物理基礎・物理] [化学基礎・化学] [生物基礎・生物]から1科目	
	知能情報システムコース					
	自然科学コース					
	応用化学コース					

志願できるコースは、学部内で第3志望まで認めます。

共創理工学科の各コースを第1志望にして、創生工学科の各コースを第2志望または第3志望にする場合は、センター試験で「物理」を受験していることが必要です。

配点

試験の区分	国語	地理歴史・公民*	数学	理科	外国語**	配点合計
センター試験	150	75	50×2	50×2	200	625
個別学力検査						400
計	150	75	300	300	200	1025

*2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

**大学入試センター試験の「英語」はリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただしリスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

□ 一般入試〔後期〕

後期日程

学科	コース	大学入試センター試験		個別学力検査	
		教科・科目名等	教科・科目名等	教科・科目名等	教科・科目名等
創生工学科	機械コース	国語 「国語」1科目 地歴 「世界史B」「日本史B」「地理B」 公民 「倫理、政治・経済」から1科目 数学 「数学I・数学A」1科目 「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科 「物理」「化学」2科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目		国語 「国語」1科目 地歴 「世界史B」「日本史B」「地理B」 公民 「倫理、政治・経済」から1科目 数学 「数学I・数学A」1科目 「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科 「物理」「化学」2科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	
	電気電子コース				
	福祉メカトロニクスコース				
	建築学コース				
共創理工学科	数理科学コース	国語 「国語」1科目 地歴 「世界史B」「日本史B」「地理B」 公民 「倫理、政治・経済」から1科目 数学 「数学I・数学A」1科目 「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科 「物理」「化学」「生物」から2科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目		国語 「国語」1科目 地歴 「世界史B」「日本史B」「地理B」 公民 「倫理、政治・経済」から1科目 数学 「数学I・数学A」1科目 「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科 「物理」「化学」「生物」から2科目 外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	
	知能情報システムコース				
	自然科学コース				
	応用化学コース				

面接

志願できるコースは、学部内で第3志望まで認めます。

共創理工学科の各コースを第1志望にして、創生工学科の各コースを第2志望または第3志望にする場合は、センター試験で「物理」を受験していることが必要です。

配点

試験の区分	国語	地理歴史・公民*	数学	理科	外国語**	面接	配点合計
センター試験	125	75	150×2	100×2	200		900
個別学力検査						200	200
計	125	75	300	200	200	200	1100

*2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を合否判定に使用します。

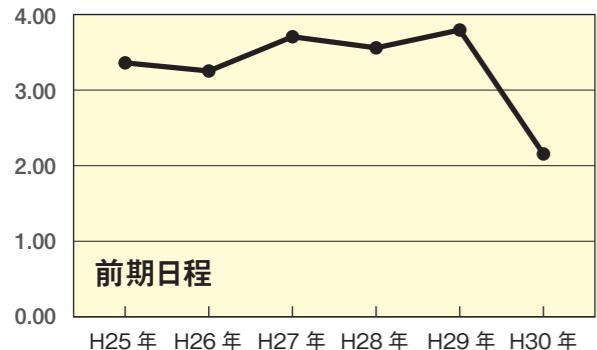
**大学入試センター試験の「英語」はリスニングを含みます。リスニングを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただしリスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。



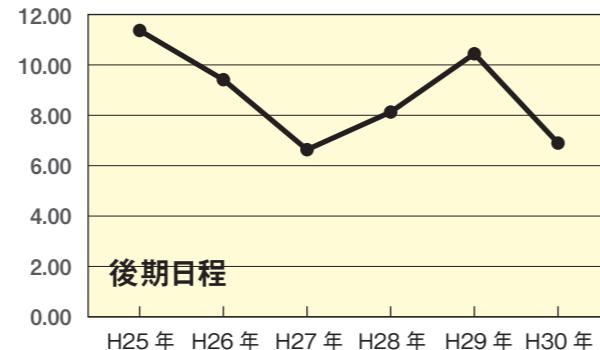
数字でみる理工学部

Data of Faculty of Science and Technology 2018

志願倍率の推移(理工学部全体)



※平成28年度以前は工学部のデータです。



女子学生入学状況

学科	コース	入学定員	女子学生の入学者数					
			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
創生工学科	機械コース	75	4	3	3	3	4	7
	電気電子コース	75	6	4	5	4	9	8
	福祉メカトロニクスコース	35	3	5	4	8	14	5
	建築学コース	50	17	17	13	13	15	21
共創理工学科	数理科学コース	15					4	5
	知能情報システムコース	65	14	5	11	15	11	16
	自然科学コース	15					6	8
	応用化学コース	55	17	21	14	19	18	22
計		385	61	55	50	62	81	92

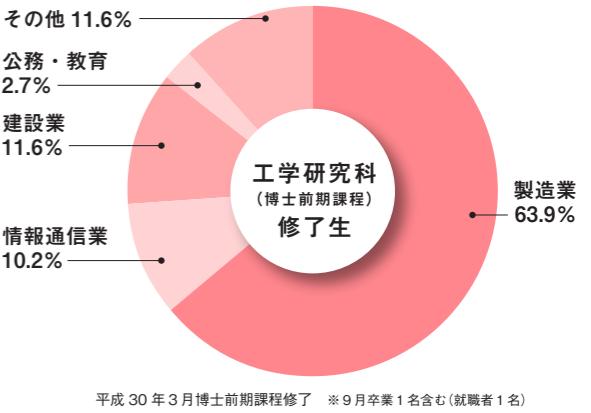
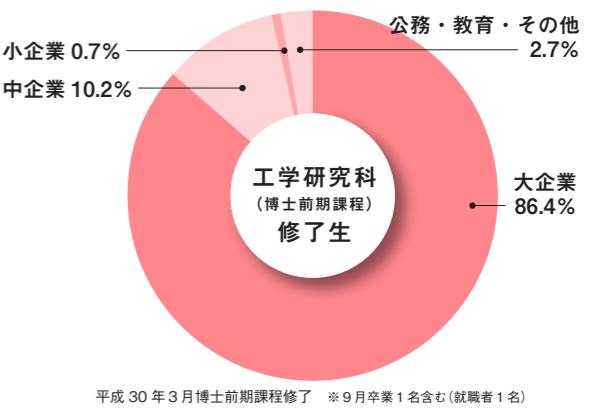
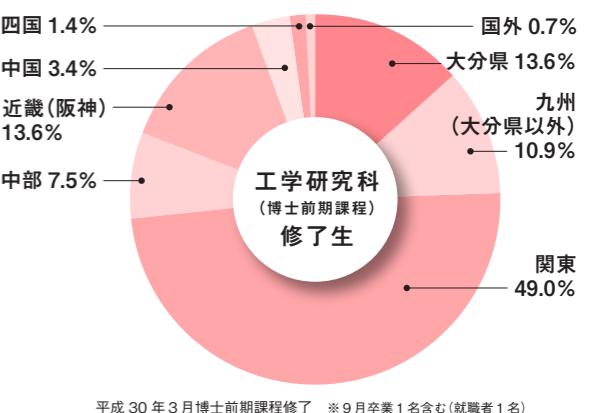
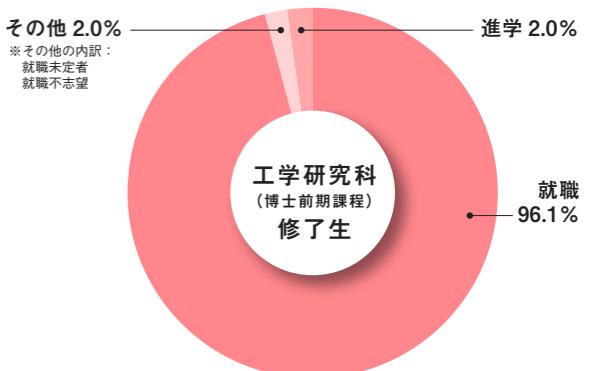
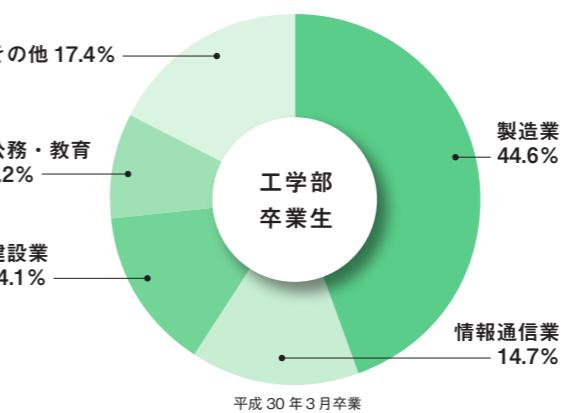
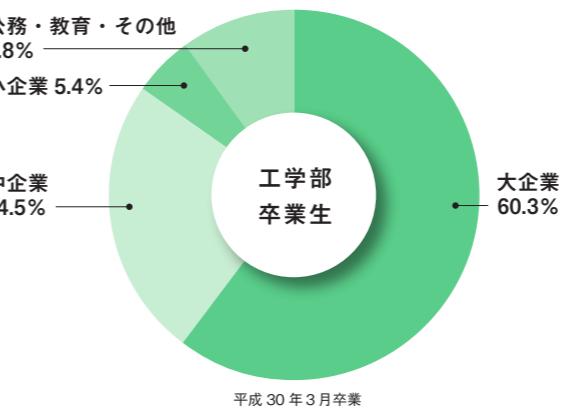
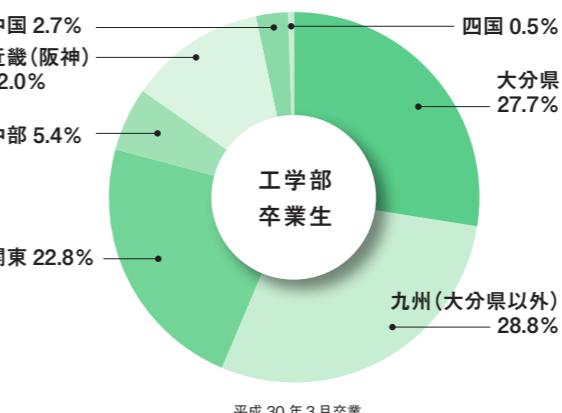
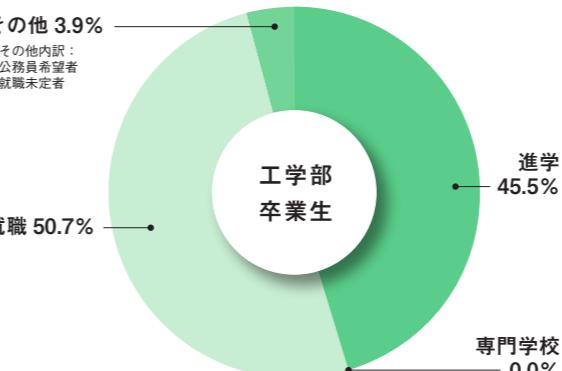
※平成28年度以前は工学部のデータです。

大分大学では、平成22年に「女性研究者サポート室」を、
25年に「男女共同参画推進室“FAB”」を設置して、
『理系女子(リケジョ)』を支援しています！

<http://www.fab.oita-u.ac.jp>



卒業後の進路について



主な就職先 (理工学部への移行期間は工学部卒業生の就職先を記載しています。)

機械・ エネルギー システム工学科	機械コース	本田技研工業株、ダイハツ工業株、スズキ株、新日鐵住金株、京セラ株、東京エレクトロン株、太平洋セメント株、JFEエンジニアリング株、西日本電線株、ミネベアミツミ株、NOK株、株マキタ、日立造船株、三井造船株、今治造船株、東芝三菱電機産業システム株、ジャパンエレベーターサービスホールディングス株、明石機械工業株、フォスター電機株、株カンセツ、西川計測株、上野精機株、株ジェイデバイス、ヤンマーアグリジャパン株、ヤンマー建機株、佐世保重工業株、大分キヤノン株、ダイハツ九州株、株佐伯建設、エスティケイテクノロジー株、株デンケン、玖珠工業株、福岡県庁、大分県警察 他
	コエネルギー	三菱電機株、株安川電機、三菱日立パワーシステムズ株、富士電機株、京セラ株、シャープ株、九電ハイテック、株九電工、新日鐵住金株、三菱マテリアル株、日鉄住金テクノロジー株、株IHI、川崎重工業株、株日本製鋼所、ホンダ技研工業株、三菱自動車、スズキ株、ダイハツ工業株、株クボタ、株小糸製作所、NOK株、NTN株、株GSユアサ、デンカ株、三井造船株、日立造船株、株名村造船所、DME森精機株、東芝機械株、株北川鉄工所、太平洋セメント株、日鉄住金物産株、大分キヤノン株、大分キヤノンマテリアル株、株京製メック、大和冷機工業株、高齢・障害・求職者雇用支援機構、豊後大野市役所 他
電気電子 工学科	電気コース	三菱電機株、三菱電機エンジニアリング株、株九電工、大分キヤノン株、日鉄住金テックスエンジ株、栗原工業株、株ソフトウェア・サイエンス、大阪製鐵株、京セラ株、株明電舎、富士通テンテクノロジー株、株大分銀行、JFEブランチエンジ株、トータルテクニカルソリューションズ株、日鉄住金テクノロジー株、東芝三菱電機産業システム株、株東芝、安川電機株、株日立産機システム、スズキ株、株佐伯建設、栗原工業株、西部電気工業株、西日本電線株、矢崎総業株、株IHI、住友重機械工業株、新日鐵住金株、新日鐵住金ステンレス株、三菱電機ビルテクノサービス株、西川計測株、大分県庁(電気)、大分市役所、和歌山県庁 他
	電子コース	三菱電機株、パナソニック株、株東芝、東京エレクトロン株、富士電機株、九州電力株、新日鐵住金株、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株、京セラ株、株デンソー、オムロン株、株村田製作所、三菱電機ビルテクノサービス株、東芝三菱電機産業システム株、東芝フランチシステム株、矢崎総業株、株安川電機、株スクリーンHD、株NTTドコモ、富士通テレコムネットワークス株、富士通九州ネットワークテクノロジーズ株、ダイハツ株、スズキ株、オムロン株、オリジン電機株、大分キヤノン株、山口放送株、株九州電子、株九電工、船井電機株、西部電機工業株、三浦工業株、九州地方整備局、横浜市役所、大分県庁、大分市役所 他
知能情報 システム工学科		株インフォセンス、エコー電子工業株、NECソリューションイノベータ株、NECフィールディング株、株オーイーシー、大分キヤノン株、株大分銀行、大分県信用組合、株OKIソフトウェア、九州NSソリューションズ株、株QTnet、株シティアスコム、Gcomホールディングス株、JR九州システムソリューションズ株、株JA大分総合情報センター、株ジェイデバイス、株スリーエイシステム、株ゼンリン、ソニーLSIデザイン株、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株、大銀コンピュータサービス株、東京エレクトロン株、凸版印刷株、株日立システムズ、富士通株、株富士通九州システムズ、三菱電機株、三菱電機インフォメーションシステムズ株、三菱電機インフォメーションネットワーク株、株明電舎、メルコパワースистемズ株、モバイルクリエイト株、ローム株 他
		大分キヤノンマテリアル株、京セラ株、住友化学株、東ソー株、山九プラントテクノ株、キシダ化学株、ハリマ化成株、積水樹脂株、株新日本科学、株三ツワフロンテック、日進化成株、旭化成アミダス株、三井金属鉱業株、タイガースポリマー株、西部ガス株、東郷メディキット株、JR西日本株、ソニーセミコンダクタ株、株ジェイデバイス、株日本マイクロニクス、JAおおいた、凸版印刷株、東亜ストーリング株式会社、株式会社ジェイクリエイション、ニチアス株、株もち吉、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株、株日立プラントサービス、九州ベストフーズ、伊藤ハムウエスト株、株スズキ自販大分、富士インフォックス・ネット株式会社、株P.Bシステム、株アウトソーシングテクノロジー、明和グラビア株式会社、タマボリ株、九州航空株式会社、株ジェイアール西日本広島メンテック、新日鐵住金環境プラントソリューションズ株、株オービック、大分キヤノンマテリアル株、アルメイダ病院、株筑邦銀行、大分銀行株、日本郵政株、大分県庁、大分市役所、臼杵市役所、長崎県庁 他
応用化学科	建築コース	鹿島建設株、大成建設株、清水建設株、株大林組、三井住友建設株、前田建設工業株、東急建設株、株フジタ、株鹿谷組、株穴吹工務店、東レ建設株、株錢高組、佐藤工業株、株鴻池組、建築工業株、九州旅客鉄道株、ケーアンドイー株、菱美テクニカ株、広成建設株、株一宮工務店、吉原建設株、高陽建設株、鹿島道路株、梅林建設株、株佐伯建設、平倉建設(有)、北斗建設、大和ハウス工業株、住友林業株、旭化成ホームズ株、株一条工務店、セキスイハイム九州株、三井ホーム株、株齊藤工務店、トヨタホームつくし株、株ハウジングスタッフ、山根ホールディングス株、株ecommo、ヤマサハウス株、株シーアーズホーム、大和ハウスリフォーム株、株アキュラホーム、株レオハウス、株ハウジングプラザ、株バナホーム大分、株大気社、高砂熱工業株、東洋熱工業株、株サンゲツ、株ヤマカ、JFEシビル株、株麻生、ランドブレイン株、株リノベリング、株共同建築設計事務所、東九州設計工務株、大分県庁、佐賀県庁、長崎県庁、宮崎県庁、宮崎市役所、山口県庁、島根県庁、愛媛県庁、大分市役所、佐伯市役所、宇佐市役所 他
	コマツコマニクス	株日本キャリア工業、株ジェイデバイス、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株、株デンケン、オムロン阿蘇株、株ソフワ、株シーアールイー、新日本非破壊検査株、西日本電線株、三菱電機エンジニアリング株、三菱電機株、NTT株、スズキ株、株日本製鋼所、THK株、株ダイヘン、西部電気工業株、株村田製作所、株クボタ、いすゞ自動車株、株日立ソリューションズ西日本、大分キヤノン株、株エー・アンド・ディ、大分キヤノンマテリアル株、平田機工株、太平洋セメント株、NOK株、ミネベアミツミ株、宇部興産株、西部電機株、住友電装株、株京製メック、日機装株、シャープ株、株ユーシン、株ジェイテクト 他

新コースの予想される就職先

共創 理工学科	科学 理	高等学校・中学校 数学教員／ソフトウェア・情報処理・流通・金融・保険などの技術者／公務員／研究者など
	科学 自然	化学・材料系企業・食品系企業・電機・半導体系企業などの技術者／建設・環境コンサルタント／中学校・高等学校理科教員／公務員／研究者など

主な大学院進学先

大分大学大学院、九州大学大学院、早稲田大学大学院、九州工業大学大学院、筑波大学大学院、長崎大学大学院、愛媛大学大学院

大分大学の高等学校等訪問(出前講義)

平成30年度大分大学の高等学校等訪問(出前講義)のご案内

本学の教員が、高校等側からの依頼に応じて実施する出前講義の平成30年度の受付を以下の要領で開始しました。

実施の時期	平成30年6月1日～平成30年11月30日(※原則として土日祝を除く。)
申込期限	実施希望日の2か月前
実施の対象	九州内の高等学校(中等教育学校を含む。)及び高等専門学校とします。
申し込み方法	本学公式ホームページから「入試情報」→「大分大学の高等学校等訪問(出前講義)」をご覧ください。 本学公式ホームページ URL : http://www.oita-u.ac.jp/
	<p>①本学所定申込書様式「出前講義申込書(別紙様式1)」をダウンロードしてください。</p> <p>②申込書に必要事項を漏れなく記入してください。なお、講義テーマについては、「講義内容リスト」の中から、希望の講義内容を選んで記入してください。</p> <p>③申込書をメール添付で、nyusiss@oita-u.ac.jpへお申込ください。</p>
問合せ・ 送付先	大分大学学生支援部入試課 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 電話：097-554-6701 FAX：097-554-7472 E-mail：nyusiss@oita-u.ac.jp
派遣講師の決定	申し込まれた高校の希望にそって派遣講師を決定し、電話、FAXまたはメールでお知らせします。
詳細についての打ち合わせ	日程、講義内容、必要機材等の詳細については、派遣講師と高校側担当者の間で、直接打ち合わせ願います。
経費について	講師派遣にかかる謝金・旅費は、原則不要です。
その他注意事項	<p>①企画・運営に進学関連事業等の業者が関与している場合には、申し込みの受付をいたしかねますので、あらかじめご了承願います。</p> <p>②希望日時等の調整が困難な場合や申し込み多数の場合は、ご希望に添えないのでありますので、あらかじめご了承願います。</p>



印は理工学部主体の交流校

ノルウェー
オスロ大学

スウェーデン
メーラーレン大学

フィンランド
TAMK大学

イギリス
バース大学
ハートフォードシヤー大学
セントラル・ランカシャー大学

オランダ
ティルブルグ大学
NHL大学

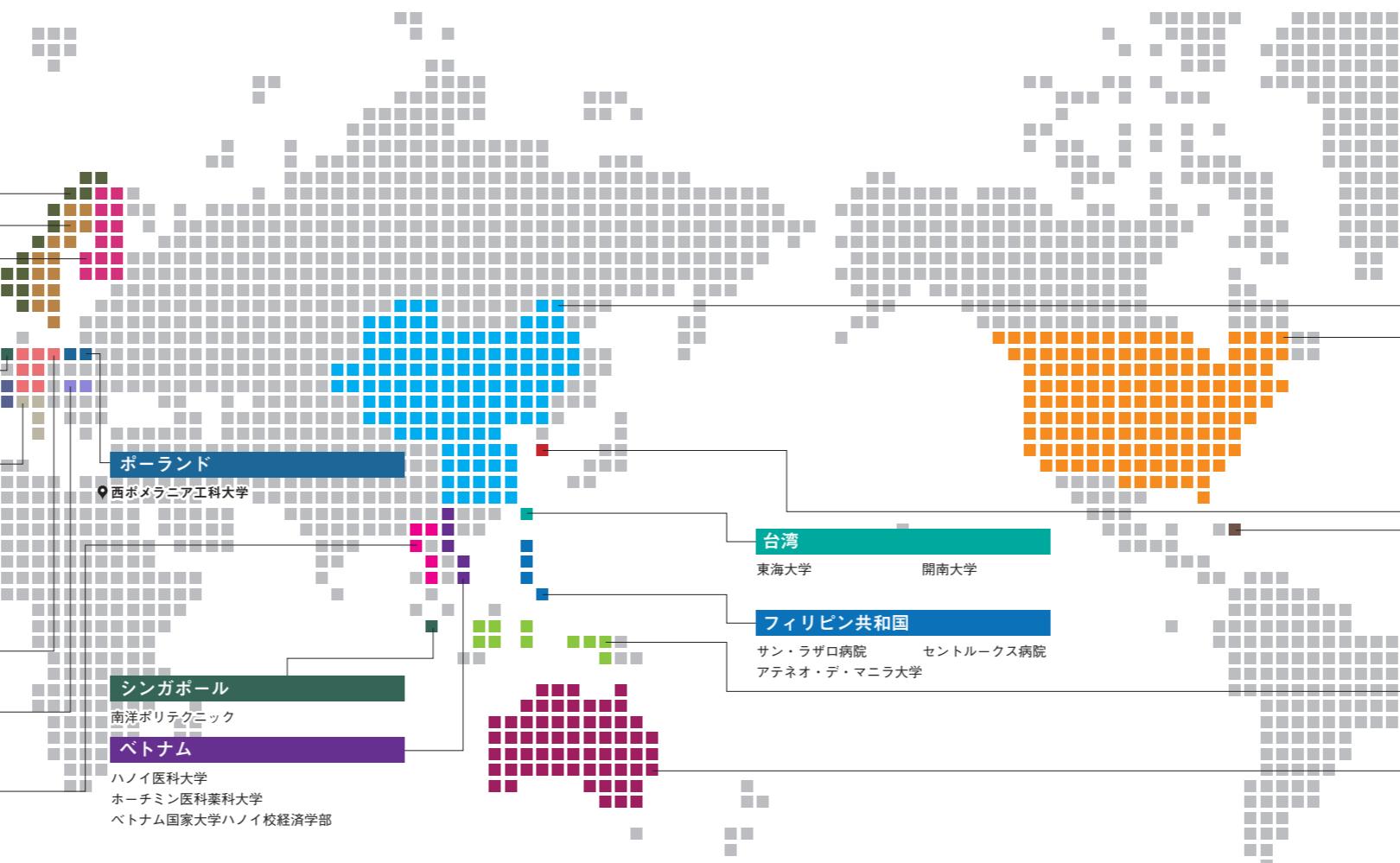
フランス
レンヌ第2大学
オルレアン大学

イタリア
パヴィア大学

ドイツ連邦共和国
バダボーン大学

ハンガリー
カロリ・ガーシュバル・カルビン派大学
ブダペスト・メトロポリタン大学

タイ
チェンマイ大学
コンケン大学



中華人民共和国

江漢大学
遼寧師範大学
香港大学
河北師範大学
華中科技大学
深圳大学
南陽理工学院
对外经济贸易大学

中南财经政法大学
武汉大学
内蒙古民族大学
黑龙江大学
北京林业大学
香港中文大学
内蒙古大学
陕西师范大学

アメリカ合衆国

サンフランシスコ州立大学
テキサス大学オースチン校
ノースカロライナ大学シャーロット校
メリーランド大学ボルティモア校
サンディエゴ州立大学
アーカンソー大学フォートスマス校
アイオワ州立大学

大韓民国

韩国交通大学
西京大学
嶺南大学
ソウル女子大学
高麗大学
梨花女子大学
順天大学
培材大学

嘉泉大学
江南大学
釜山大学
江陵原州大学
光州大学
大邱大学
順天鄉大学

ドミニカ共和国

サントドミンゴ自治大学

インドネシア

バンドン工科大学
マラナタ・クリスチャン大学

オーストラリア

西オーストラリア大学
ウーロンゴング大学

(他学部の協定校は記載していません)

大分大学の奨学支援システム

学部生数：4,957名／大学院生数：639名

入学料免除・徴収猶予

経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀な方、または入学前1年内に学資負担者が亡くなったもしくは風水害等の災害にあった方は、入学料の免除・徴収猶予を申請することができます。申請は、入学手続き時に受け付けます。

*本学では、学部入学生で経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀な方も入学料の免除を申請することができます。他大学では経済的理由による学部入学生への入学料免除はあまり実施されていません。

平成29年度実績

・学部入学生
全額免除1名 半額免除11名 徵収猶予52名
・大学院入学生
全額免除1名 半額免除16名 徵収猶予41名

授業料免除

経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀な方、または授業料の納期前半年以内に学資負担者が亡くなったもしくは風水害等の災害にあった方は、授業料の免除を申請することができます。

申請は半期ごと(前期、後期)に必要です。
なお、新入生が入学した期の申請は、入学手続き時に受け付けます。

平成29年度実績(前後期延べ人数)

・学部生 全額免除528名 半額免除1,137名
・大学院生 全額免除90名 半額免除227名

大分大学入学料・授業料奨学融資制度

本学独自の制度で、地元金融機関から下記の納付金について融資を受けた場合、在学中の利息を大学が負担するものです。

募集は、
前期6月中旬、後期11月中旬頃
に行います。

入学料・授業料

半額免除者の授業料

休学者(留学等)の復学後の授業料

*入学料・授業料融資制度を申請する場合は、入学手続き時に入学料徴収猶予の申請が必要です。

平成29年度実績

4名

日本学生支援機構奨学金

奨学金の種類

・第一種奨学金(無利子) ・第二種奨学金(有利子) ・給付型奨学金(学部生:高校からの予約奨学生のみ)

奨学生数(30.5.1現在)

・学部生 第一種 1,258名 第二種 1,376名 併用 460名 (在学生の約62%)	給付型 49名
・大学院生 第一種 184名 第二種 130名 併用 44名 (在学生の約56%)	

民間奨学財団奨学金 地方公共財団奨学金

団体数: 24 奨学生数: 82名(30.3.1現在)

学生支援特別給付奨学金

平成29年度 熊本地震関連 3名

海外留学制度

大分大学が交流協定を結んでいる大学への派遣留学

- 23カ国 89大学・機関
- 半年または1年
- 協定先で取得した単位は規定を満たせば卒業単位として認定
- 留学中も大分大学に学費を納入し、留学先での授業料は原則無料
- 往復旅費、生活費(寮費、食費など)は自己負担
- 派遣留学のための奨学金(日本学生支援機構)への申請が可能
- 応募資格: 協定校が認める語学能力(TOEFL等)を有すること

学生寮

入寮年限は2年です。

経済的事由および地理的事由(通学に要する時間が90分以上)を考慮して選考されます

- 単身個室タイプ290室(身体等に障がいのある学生専用居室2室を含む)
- 男子ゾーン、女子ゾーン、留学生ゾーンによりエリア分けされています
- 設備は、ベッド(マットなし)、机、いす、クローゼット、ユニットバストイレ、エアコン、ミニキッチン(IH)、インターネット配線、TV配線

必要経費

寄宿料	20,000円/月
維持管理費(共益費)	2,000円/月
水道料	2,000円/月
インターネット料	2,000円/月
維持管理一時金(退去時原形復旧費)	30,000円(入居時)

